梅毒って？

梅毒は、とても感染力が強い性感染症です。感染して2～3週間たって、症状（しこりやくぼみ）が出ますが、感染に気付かないまま、他の人に感染させることがあります。

治療せずにいたら？

心臓や脳に重篤な症状が現れ、死に至ることもあります。妊婦が感染した場合、流産や早産、生まれてくるこどもの神経や骨などに異常をきたすことがあります（先天梅毒）。

予防法は？

粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように、性交渉の際は必ず、コンドームを適切に使用しましょう。（コンドームで100％予防できるとは限りません。）

梅毒かもと思ったら

梅毒は、治せる病気です。心配な症状がある場合は、早めに医療機関（泌尿器科・産婦人科・皮膚科）を受診し、検査を受けましょう。

その他の性感染症

性感染症は、感染しても症状がないこともあり、治療しなかった場合に、不妊症や深刻な後遺障害を残すことがあります。

梅毒以外の様々な性感染症

性器クラミジア感染症

性感染症の中で一番患者数が多い！

淋菌（りんきん）感染症

二番目に患者数が多い

性器ヘルペスウイルス感染症

抵抗力が落ちると再発

尖圭（せんけい）コンジローマ

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染で発症

梅毒は性的接触によって感染する病気です



北九州市では無料匿名検査も実施しています。

自然に治りません！早期検査と早期治療が大事！

正しく知ろう

梅毒（ばいどく）



北九州市



梅毒はどんな症状が出るの？

第Ⅰ期
感染後約３週間

- 感染部位（性器・口・肛門など）に「しこり」や「くぼみ」が出る。
- 初期には痛みがないことが多く、治療しなくても症状が一時的に軽快する。

第Ⅱ期
感染後数ヶ月

- 手のひらや足の裏・全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出る。
- アレルギー、風しん、麻しんなど、他の病気に間違えられることがある。

第Ⅲ期
感染後数年

- 皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍ができる。
- 心臓、血管、脳などに病変が生じ、場合によっては死に至ることもある。



症状が一時的に消えても
治ったわけではありません！

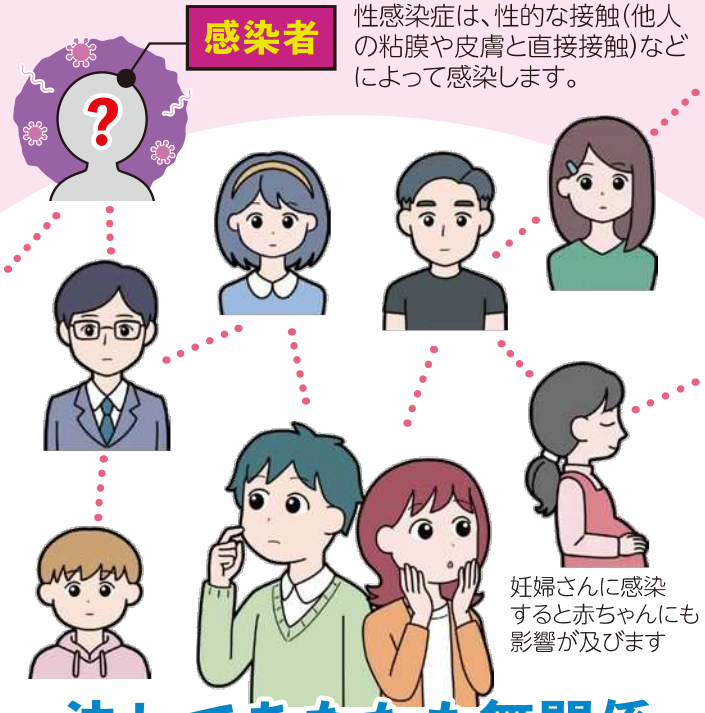
自分でも気づかないまま
他の人に感染させる
可能性があります！



パートナーは一人だから大丈夫？



いいえ！
現在のパートナーが一人でも、過去のパートナーや現在の交友関係からの感染もありえます。



性感染症は、性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触)などによって感染します。

妊婦さんに感染すると赤ちゃんにも影響が及びます

決してあなたも無関係とは言えません！



検査はどこで受けられるの？

症状がある場合やパートナーの感染が明らかな場合

病院や診療所へ

泌尿器科・婦人科
感染症科・皮膚科

症状はなく、パートナーの感染も不明だが心配な場合

保健所・区役所の無料匿名検査へ

保健所

早めの検査が大切！

北九州市の無料・匿名の
HIV検査・梅毒検査はこちらから→

忙しくて
検査に行けない方には
『HIV郵送検査キット』
もあります！

郵送検査
ホームページ



北九州市